

最近の港湾に関する動向について



- 1 千葉港における取扱貨物量について
- 2 「みなとオアシス千葉みなと」登録について（平成30年3月24日）
- 3 「港湾都市協議会」開催について（平成30年7月19日～20日）
- 4 「千葉港ポートセミナー」開催について（平成30年10月24日）
- 5 千葉港港湾計画改訂について（平成30年11月14日）
- 6 石井国土交通大臣 千葉港視察について（平成30年11月23日）
- 7 「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2018」について（平成30年12月13日）

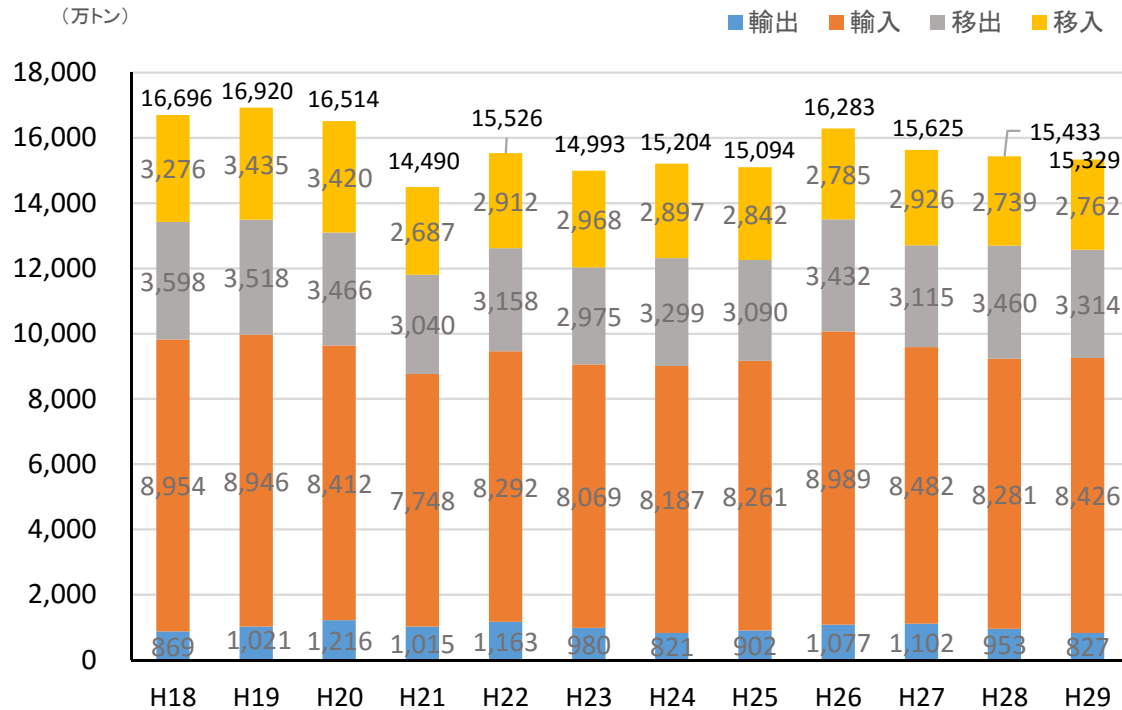
1 県内港湾の取扱貨物量について

1 県内港湾における取扱貨物量について

千葉港（全体貨物量）

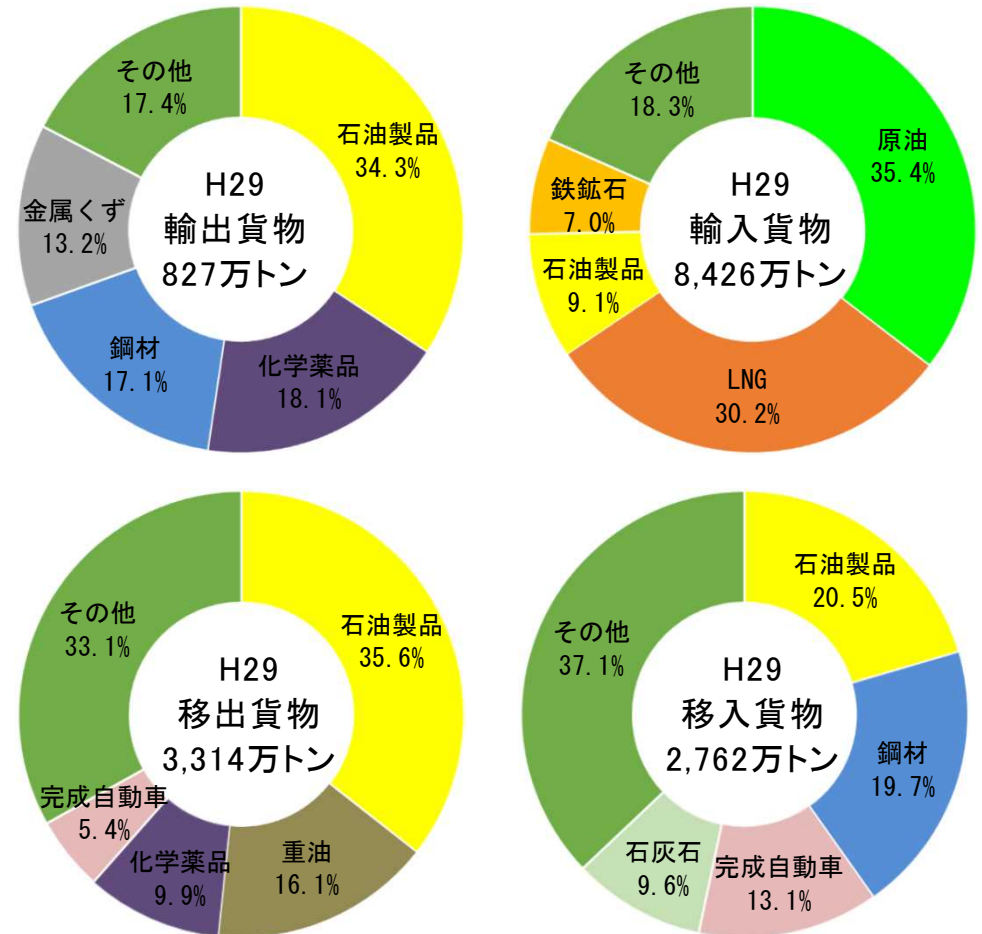
- 大宗貨物は、原油、LNGの輸入、石油製品の輸出、移出入。
- 原油は、主にUAE、カタール、サウジアラビアから輸入しており、精製後、化学製品（合成樹脂等）や生活、工場用の燃料油として利用。
- LNGは、主にブルネイ・マレーシア・オーストラリアから輸入しており、火力発電用の燃料油として利用。
- 石油製品（ガソリン、潤滑油等）は、主に韓国に輸出、東京港に移出、横浜から移入。

千葉港における取扱貨物量



(出典：千葉県港湾統計年報より作成)

千葉港における取扱貨物



(出典：千葉県港湾統計年報より作成)

1 県内港湾における取扱貨物量について

千葉港（公共・専用別貨物量）

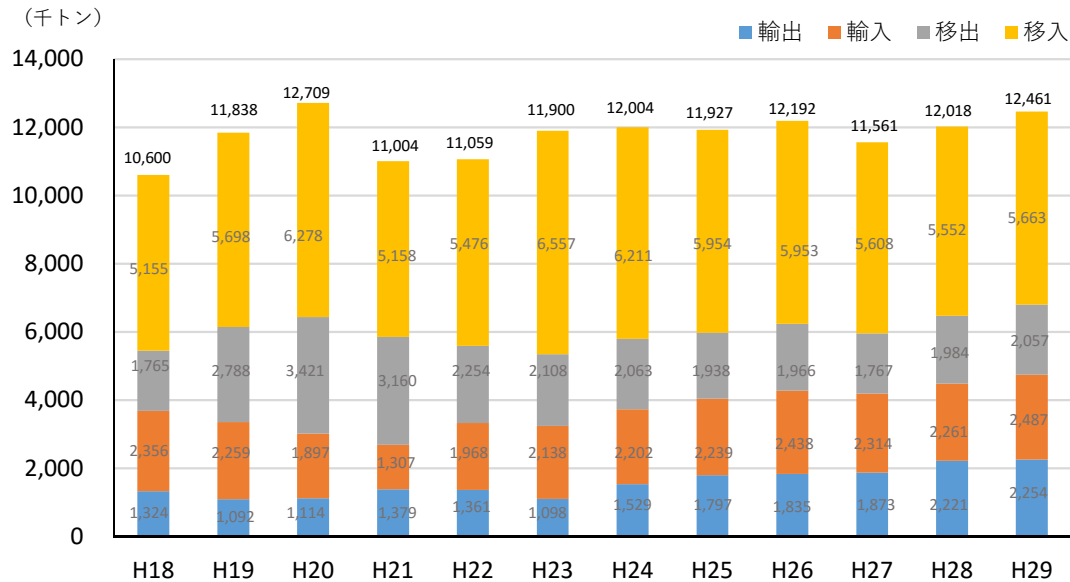
【公共】

- 大宗貨物は、完成自動車の輸出入・移出入、金属くずの輸出、鋼材の輸入。
- 完成自動車は、主にアメリカに輸出、ドイツから輸入、大阪府に移出、愛知県から移入。
- 金属くずは、主に鉄鋼の原料として韓国に輸出。
- 鋼材は、主に建設資材として韓国から輸入。

【専用】

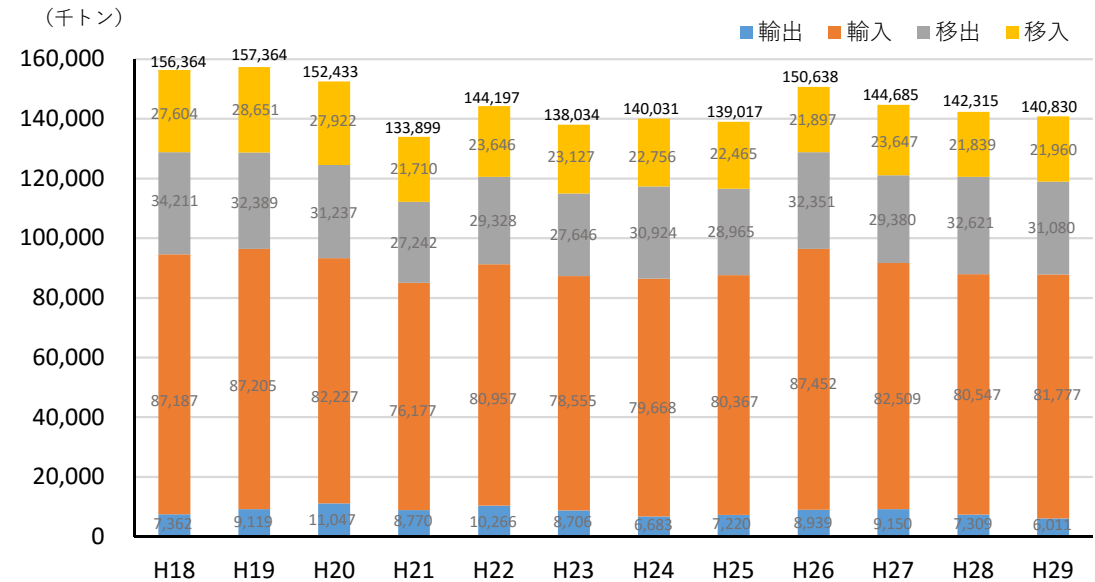
- 平成22年以降概ね横ばいで推移している。
- 外内出入別では、輸入貨物（主に原油、LNG等のエネルギー物資）が全体の半数を占めている。

千葉港における公共取扱貨物量



（出典）千葉県港湾統計年報より作成

千葉港における専用取扱貨物量



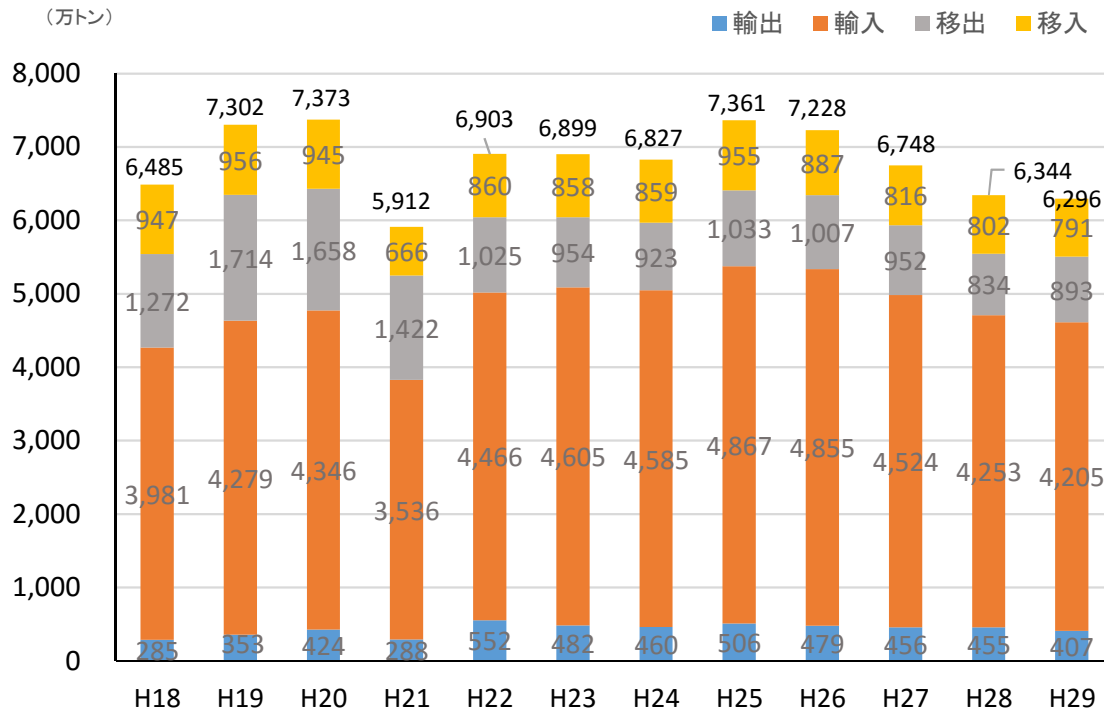
（出典）千葉県港湾統計年報より作成

1 県内港湾における取扱貨物量について

木更津港（全体貨物量）

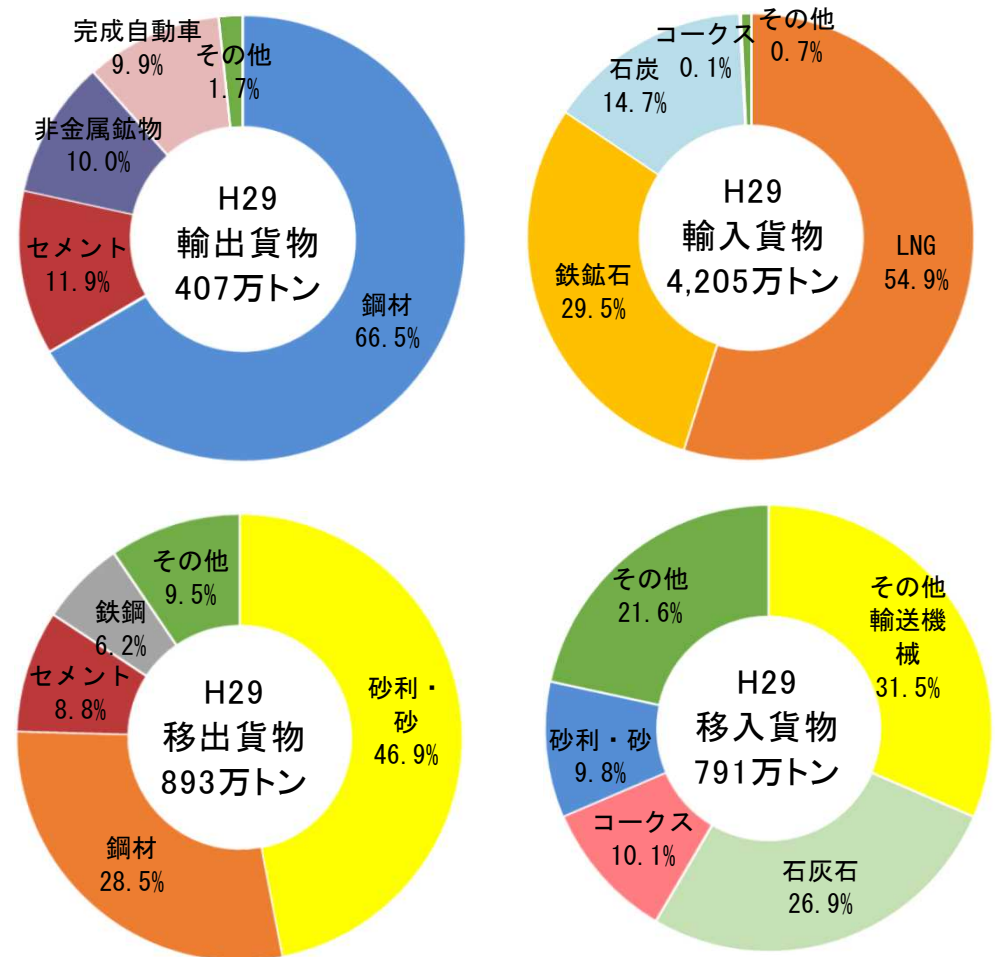
- 大宗貨物は、LNG、鉄鉱石、石炭の輸入、鋼材の輸出、移出。
- LNGは、主にUAE・オーストラリア・カタールから輸入しており、火力発電用の燃料油として利用。
- 鉄鉱石は、主にオーストラリア・ブラジルから輸入しており、鉄鋼の原材料として利用。

木更津港における取扱貨物量



(出典：千葉県港湾統計年報より作成)

木更津港における取扱貨物



(出典：千葉県港湾統計年報より作成)

1 県内港湾における取扱貨物量について

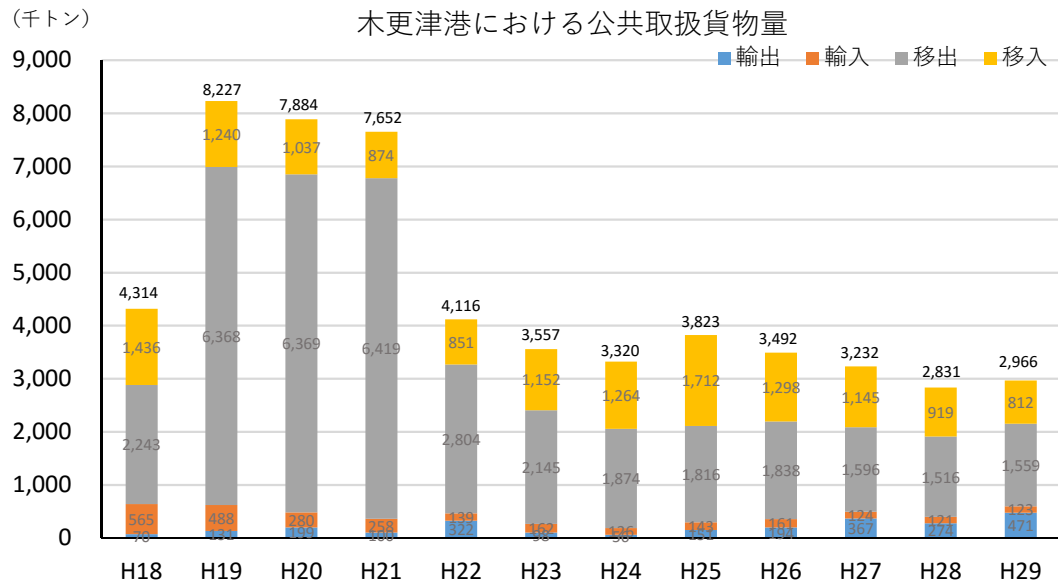
木更津港（公共・専用別貨物量）

【公共】

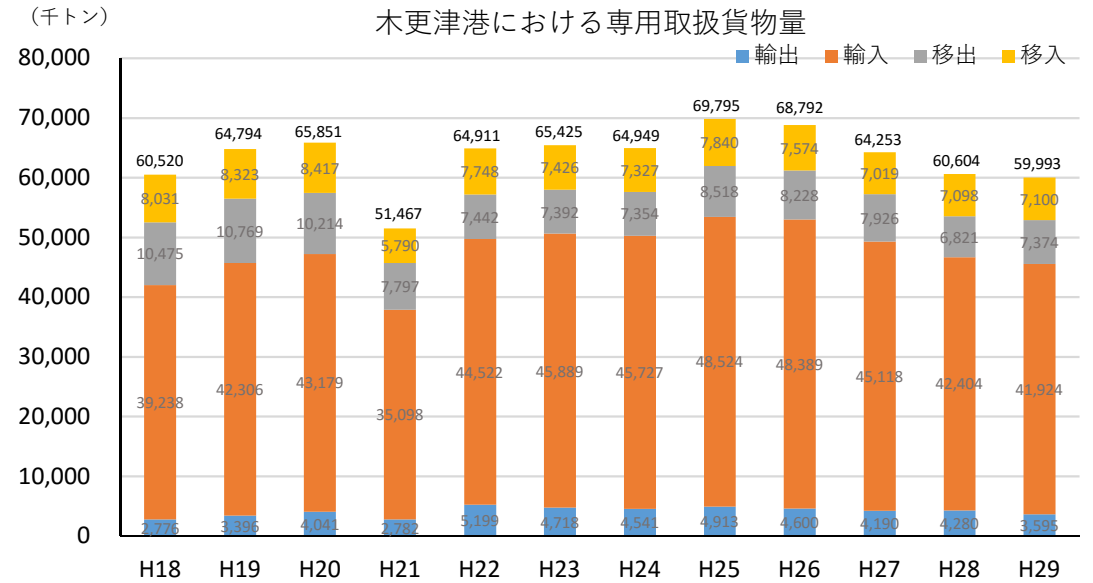
- 大宗貨物は、砂利・砂の移出、完成自動車の輸出。
- 砂利・砂は、主に京浜港に移出。
- 完成自動車は、主にニュージーランド・ケニア・タンザニアに輸出。

【専用】

- 外内出入別では、輸入貨物（主にLNG、鉄鉱石）が全体の半数を占めている。



（出典）千葉県港湾統計年報より作成



（出典）千葉県港湾統計年報より作成

2 「みなとオアシス千葉みなと」登録について

2 「みなとオアシス千葉みなと」登録について

平成30年3月24日に、千葉みなと旅客船棧橋や港湾緑地、旅客船ターミナルなどの「みなとエリア」と、「千葉ポートパーク・ポートタワー」などの千葉みなと周辺を代表する観光施設など9施設が「みなとオアシス千葉みなと」に登録されました。



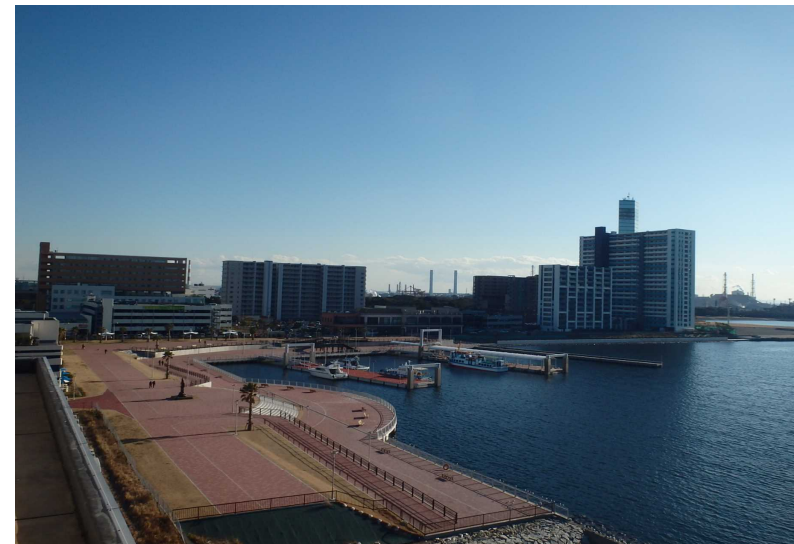
登録証交付式



登録記念モニュメント除幕式



「みなとオアシス千葉みなと」施設位置図



千葉みなと港湾緑地

3 「港湾都市協議会」開催について

3 「港湾都市協議会」開催について

総会の模様

1日目の総会では、「港湾関係事業の促進に関する提言」が決定された他、浅輪国土交通大臣官房技術参事官より、「みなと」を核とした魅力ある地域づくりや防災・減災、「港湾の中長期政策『PORT2030』」の概要について講演が行われました。



林(横浜市長)会長



金丸館山市長



高橋副知事



浅輪参事官による最近の港湾行政の動向について講演

3 「港湾都市協議会」開催について

現地視察の様様

2日目は、「館山多目的棧橋」をはじめ、「城山公園」、「館山海軍航空隊赤山地下壕」の現地視察を行いました。



館山多目的棧橋



城山公園



館山海軍航空隊赤山地下壕跡

4 「千葉港ポートセミナー」開催について

4 「千葉港ポートセミナー」開催について

講演会の模様

平成30年10月24日に、東京・秋葉原で千葉港ポートセミナーを開催。セミナーの講演では、森田知事からトップセールスとして外環道の千葉県区間が開通したことによる千葉港の利便性向上をPRいたしました



森田知事による千葉港の利便性について講演



講演会会場



千葉港紹介資料

4 「千葉港ポートセミナー」開催について

交流会の様様

交流会では、千葉港で定期航路を運航いただいている船社の皆様に商談ブースを出展いただき、荷主企業との交流・商談が行われました。



河内県土整備部長 挨拶



森田知事 名刺交換



各船社による商談ブース



交流会会場

5 千葉港港湾計画改訂について

5 千葉港港湾計画改訂について

主な計画変更内容

現況

千葉中央地区では、コンテナ、完成自動車、RORO、一般貨物と荷姿の異なる貨物を多く扱っているが、利用岸壁や荷捌き地の配置が混在しており、非効率な荷役が発生している。

非効率利用の解消と機能強化に向けた埠頭再編

- 岸壁と背後用地の一体的利用を可能とする機能配置
- 船舶の大型化ニーズに対応した岸壁機能の強化

【コンテナ取扱の問題点】

- ・コンテナ取扱量は既にターミナル取扱能力を超過
- ・コンテナヤード不足のため千葉中央地区の物揚場用地をシャーシ置場として利用。

【完成自動車取扱の問題点①】

自動車ヤード不足のため、出洲埠頭の臨時野積場への横持ちが発生



【完成自動車取扱の問題点②】

- ・岸壁延長不足のため大型PCC船が隣接岸壁にはみ出して係留
- ・大型PCC船着岸時は岸壁背後の一般貨物の荷役が行えない状況



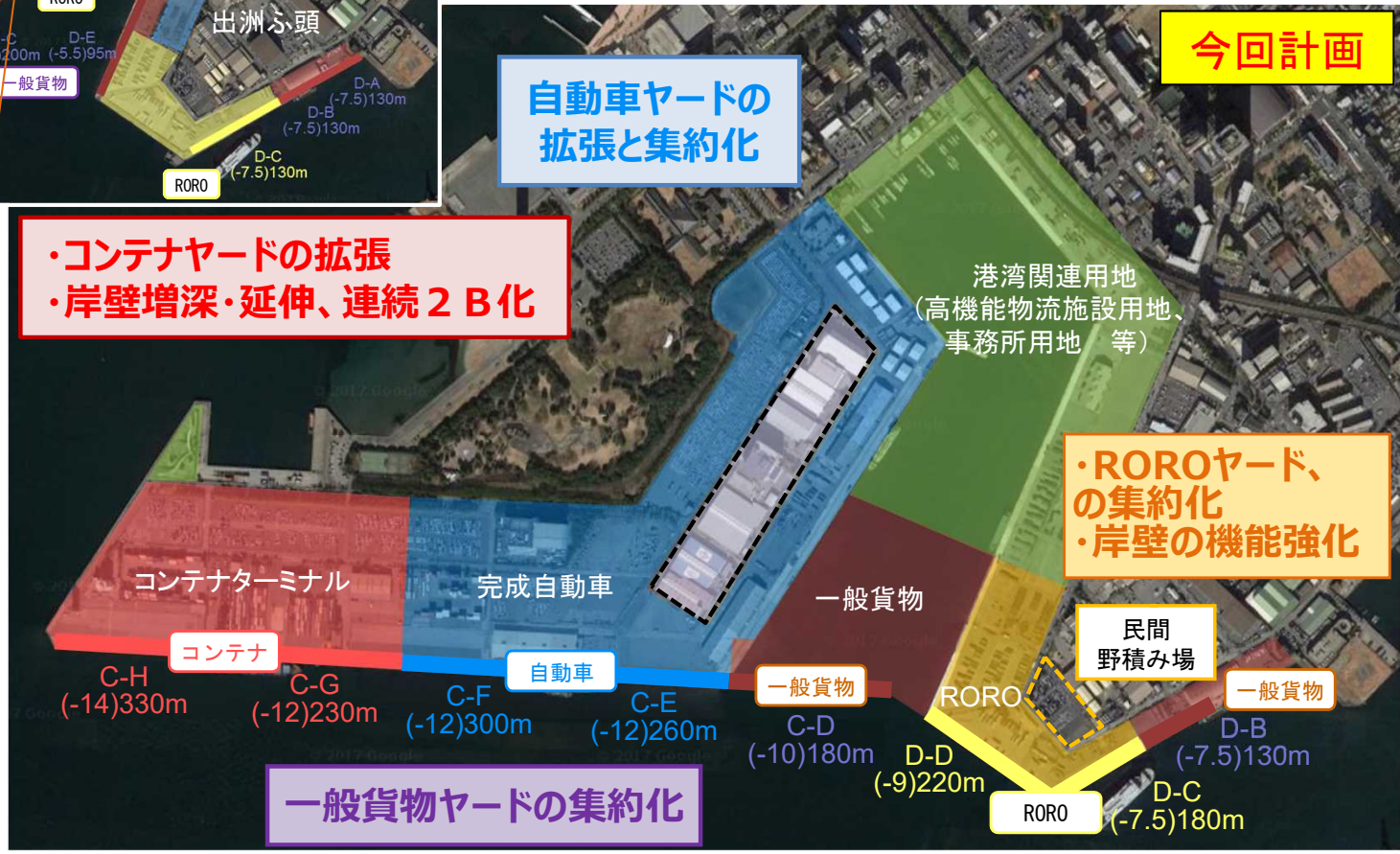
【RORO取扱の問題点】

- ・利用岸壁と荷捌きが分散し非効率な利用（千葉中央埠頭B岸壁）
- ・船舶の大型化ニーズへの対応が不可

・コンテナヤードの拡張
・岸壁増深・延伸、連続2B化

自動車ヤードの拡張と集約化

今回計画

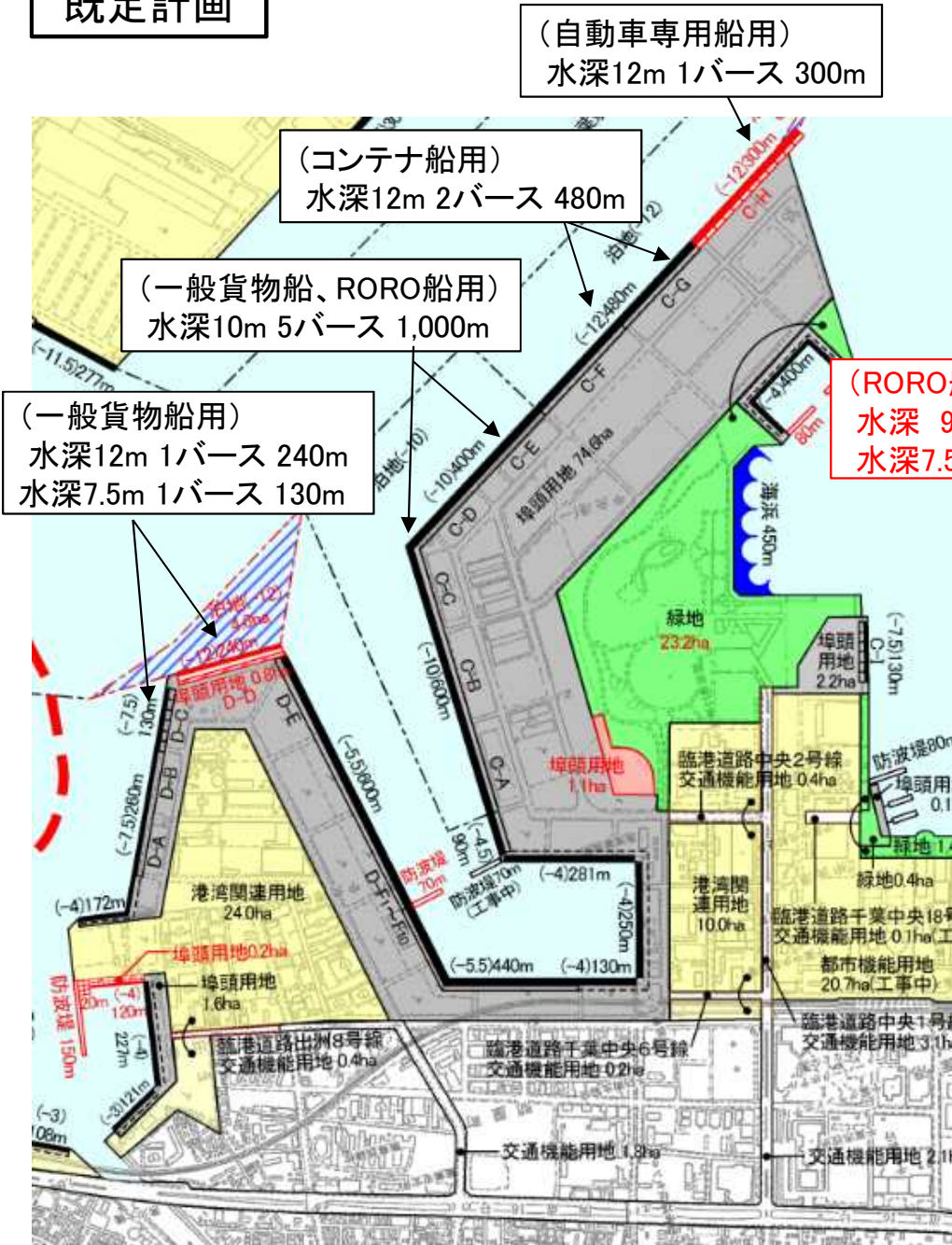


・ROROヤード、の集約化
・岸壁の機能強化

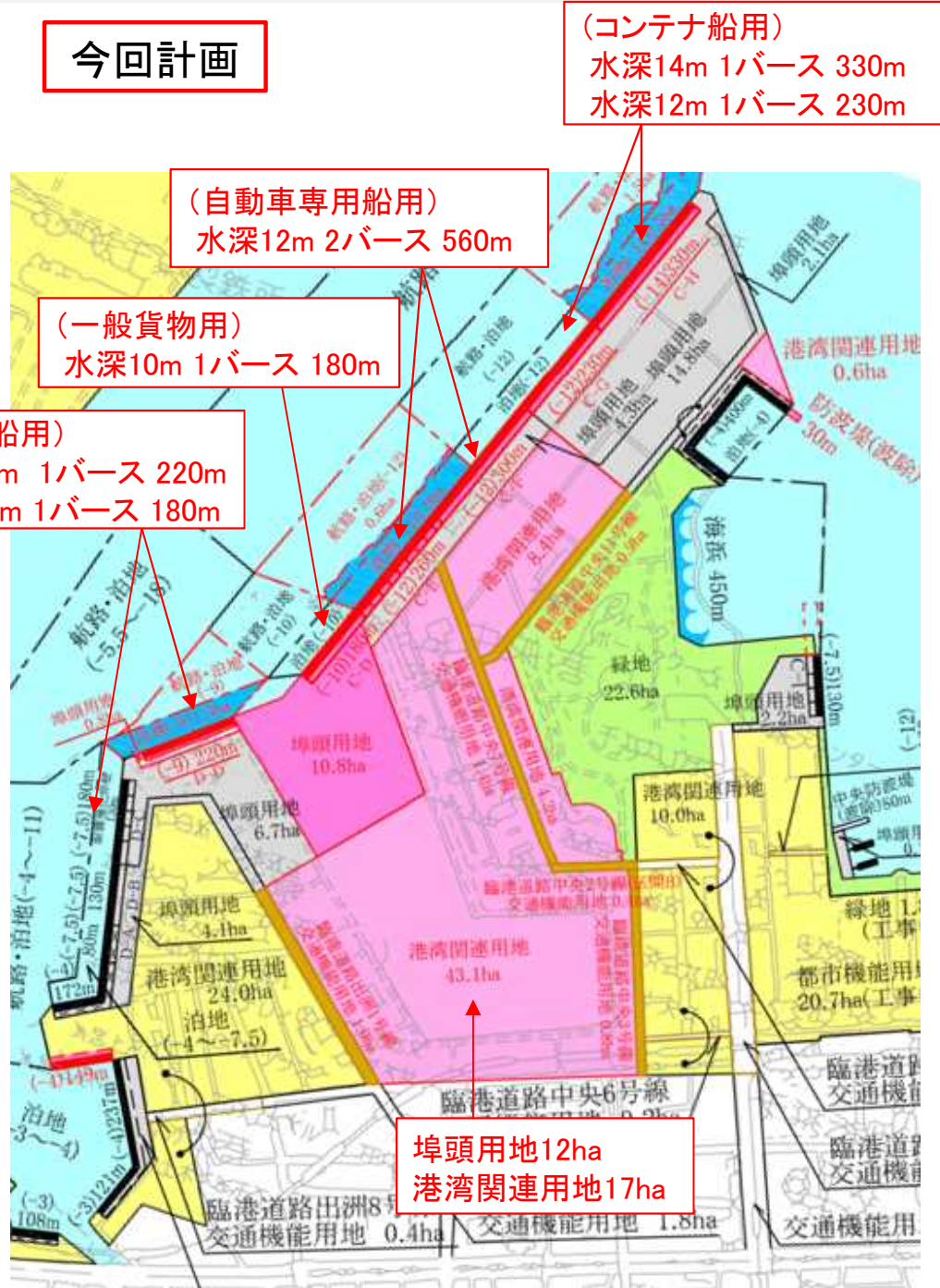
5 千葉港港湾計画改訂について

主な計画変更内容

既定計画



今回計画



6 石井国土交通大臣 千葉港視察について

平成30年11月23日に石井国土交通大臣が千葉港をはじめ、湾岸千葉地区(蘇我地区)、成田空港、北千葉道路の各所を視察されました。



説明を受ける石井国土交通大臣



清掃兼油回収船「べいくりん」から海上を視察



千葉みなと1号浮桟橋にて



7 「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2018」について

「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」は、日本外航客船協会において客船事業振興委員会における事業として、旅行業界の健全な発展に寄与したクルーズ旅行商品、特にオリジナリティーに溢れ、かつ、日本のクルーズマーケットの拡大に貢献した商品を企画造成、実施した旅行会社等を顕彰することによりモチベーションの向上を期すとともに、一般消費者に対し良質のクルーズ旅行商品・サービスの提供を図ることを目的に実施されています。



渡辺木更津市長による受賞挨拶



受賞者記念撮影

木更津港では、2年連続で客船「ぱしふいっくびいなす」による同港発のクルーズ商品が企画され、約8割が新規顧客という集客を達成された他、行政機関のみならず、港湾関係団体、旅行業者、販売業者等幅広いメンバーで構成した「みなとまち木更津プロジェクト推進協議会」の地域一丸となったクルーズ船の誘致活動が高く評価されました。



木更津港のインセンティブ

CRUISE OF THE YEAR 2018 3

▶インセンティブの内容

- 木更津港におけるクルーズ船入港のインセンティブとして、入港料、岸壁、物揚場の使用料を全額減免している。

木更津港の係留施設

CRUISE OF THE YEAR 2018 2

▶木更津南部地区G・H岸壁（延長：500m 水深：-12m）

- 係船柱、防舷材は16万トン級客船対応に改良済。

クルーズ船の寄港

CRUISE OF THE YEAR 2018 4

▶日本クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が寄港

- 熱海花火大会クルーズ。チケットは販売開始から1時間で完売（2017年9月）
- 秋の味覚と世界遺産 熊野古道クルーズ。1週間でほぼ完売（2018年11月）

木更津港での歓迎セレモニー

木更津港 受賞プレゼン資料